

ギリアドと Kite のオンコロジー部門について

ギリアドと Kite のオンコロジー部門は、がんの治療方法を革新するために尽力しています。私たちは現在、がん患者さんのアウトカムを改善すべく、次世代の治療法、併用療法およびテクノロジーを駆使してイノベーションを推進しています。私たちは、最も大きな診療ギャップに対処すべく、がん領域のポートフォリオおよびパイプラインを目的を持って構築しているところであります。抗体薬物複合体技術および低分子化合物から細胞治療に基づくアプローチまで、私たちはがん患者さんのために新たな可能性を創造しています。

Arcellx と Kite の提携について

Arcellx とギリアド・カンパニーの Kite は、再発／難治性の多発性骨髄腫（R/R MM）患者さんを対象に **anito-cel** の共同開発・共同商業化を目的とした、グローバル戦略提携を締結しています。**anito-cel** は、第 II 相登録試験および第 III 相ピボタル試験において、R/R MM 向けに現在開発しています。Kite と Arcellx は今後共同で **anito-cel** のアセットを米国にて商業化し、Kite が米国外での製品上市を行う予定です。

anitocabtagene autoleucel（anito-cel）について

anitocabtagene autoleucel（**anito-cel**、旧名：ddBCMA）は、D-Domain として知られる Arcellx の新型コンパクト結合体を活用した、多発性骨髄腫（MM）向けに開発中の初の BCMA を標的とした CAR T 細胞療法です。小型で安定した D-Domain 結合体は、持続的なシグナル伝達なしに CAR を高発現させ、BCMA 標的から速やかに放出されるように設計されています。この組み合わせにより、重度の免疫毒性を生じることなく、多発性骨髄腫細胞を効果的に除去できる可能性があります。**anito-cel** は、米国食品医薬品局（FDA）より、ファストトラック、希少疾病用医薬品および再生医療先端治療の指定を受けています。

将来予測に関する記述

本プレスリリースは、1995 年「米国証券訴訟改革法」（Private Securities Litigation Reform Act of 1995）で定義される「将来予測に関する記述」に該当し、いくつかのリスクや不確定要素などの要因を含む場合があります。これらのリスク等には、ギリアドおよび Kite が現在見込まれるタイムライン内に臨床試験を開始、進行、完了する能力、またはそれらが全く完了できない可能性、イエスカルタ、**anito-cel**、KITE-363 試験および KITE-753 試験に関するものを含む、進行中または追加の臨床試験から得られた結果が好ましくない可能性、現在評価中の適応症について、進行中または将来の申請に関連するものを含め、規制当局への承認申請および関連する申請や承認のタイムラインに関連する不確実性、ギリアドおよび Kite がこれらのプログラムの開発中止を戦略的に決定し、結果としてこれらのプログラムが現在評価中の適応症について、全く商業化されない可能性、および上記のいずれかの根拠となる仮定も含まれます。これらのリスクやその他のリスクについては、米国証券取引委員会に提出している、2025 年 6 月 30 日を期末とするギリアド四半期報告

書（フォーム 10-Q）で詳細に説明しています。これらのリスク、不確定要素およびその他の要因により、実際の結果が「将来予測に関する記述」で言及されたものと大きく異なる可能性があります。歴史的事実以外の全ての記述は、「将来予測に関する記述」とみなされます。このような「将来予測に関する記述」は将来の業績を保証するものではなく、リスクや不確実性を伴いますので、この記述に過度に依拠しないようご注意ください。「将来予測に関する記述」は全て、ギリアドおよび **Kite** が現在入手できる情報に基づいており、ギリアドおよび **Kite** は「将来予測に関する記述」を更新する義務を負うことなく、更新する意向もありません。